

1日遅れ 8/26の始業式



今年台風15号の接近のため、2学期の始業式を1日遅らせました。学校は大きな被害はありませんでしたが、如何だったでしょうか？

8/25の出勤途中、信号機が曲がっている、点いていない、バス停が倒れている、看板が飛んでいる、木が道をふさいでいる等々いつもと違う光景が広がっていました。そんな中、交通整理をする警察の方、重機を動かし大木を撤去する方、店舗の後片付けをする方など、たくさんの方々が普通の生活に戻るために風雨の中がんばっておられました。

河原地区は自然の恩恵をたくさん受けている地域です。しかし自然の猛威に人はかなわない。自然の恵みに感謝しつつ自然と共存することの大切さを感じました。そして日常の暮らしを取り戻すために役割を果たして下さっている多くの方々の姿に感謝しました。

子どもたちも庭の片付け等、一緒にしたでしょうか？始業式の発表で「今日帰ったら一緒に台風の片付けをします。」と発表した子もいました。子どもたちにとってはこの台風もよき経験だと思います。自然と共存し、社会のために自分の役割を積極的に果たす大人になってほしいと思い、始業式で話をしました。

8/23 愛校作業・空き瓶回収ありがとうございました!

昨年度より、5月下旬と夏休みの最後に美化作業をしていただき大変助かっています。学校は見違えるほどきれいになりました。運動場の周りやプールの土手は保護者のみなさんのご協力がないと草が生い茂る状況です。サッカーゴールの移動等もありがとうございました。その後の空き瓶回収は昨年度比193%で36930円の収入がありました。子どもたちが楽しみにしている冬のスケート教室等の財源にもなります。ご協力ありがとうございました。

きれいになった学校で、さあ2学期の始まりです。運動会の結団式も終わりました。企画委員会による下記のスローガン発表後、赤白に分かれての結団式です。子どもたちのやる気も上昇中です。



校長室の窓から

早崎猪之助先生
 早崎先生、戦中から戦後まで、
 長い人生、戦中も戦後も、
 愛校の心、一日もやまらず、
 が私に伝わり、下さる、また、
 今年秋は、平和公園、
 満座と、遊園地、予定、決まりました。
 今年、天晴、日本、政府、も、
 あり、手、つ、先生、受、下、さ、ま、
 早崎猪之助 敬告

修学旅行での平和学習のお話

河原小学校は毎年秋に山西小学校と合同で長崎に修学旅行に出かけます。熊本の小学校の修学旅行のほとんどは、1日目に平和学習（講話・原爆資料館見学・平和公園周辺のフィールドワーク・平和公園での集会）を行います。講話をしてくださる語り部の早崎猪之助さんについて今日は紹介したいと思います。

H20年度の修学旅行の際、平和公園にある「長崎の鐘」の像に献水をされていた早崎さんと出会いました。早崎さんは被爆体験があります。水をほしがって亡くなっていかれた人々に対して毎日水を捧げようと平和公園に通っていらっしやったところにお会いしたのです。「よかったら水をかけてあげてください。」との早崎さんの投げかけに当時の6年生は快く応じ、その間引率されていた先生と早崎さんとの会話がきっかけで、早崎さんは語り部となりました。そしてH21年度の修学旅行から今年度の修学旅行に至るまで毎年西原村の修学旅行では早崎さんに講話をお願いしているのです。昨年度の河原フ

ェスタでも早崎さんの話を元に6年生（現中1）が劇をしました。私が赴任したH25年度以降も年に数回手紙のやりとりをしています。先日も左上のお手紙をいただきました。その一節に「日本人は平和ぼけをしていると言われます。（でも私は）平和ぼけはよいことだ、戦のために心を使い果たし走り回るのがなんでよいのかと思います。心安まるころのないのが戦争です。家族を戦に出した家庭は帰ってくるまで安心なき1日です。」とありました。今回も6年生へも便りがありました。今年も11月4日に早崎さんのお話を聞きます。しっかり学んできたいと思います。



河原小だより



NO.3
H27, 8, 28

西原村立河原小学校
文責：草場ルミ子

ホームページをご覧ください!

新川教頭先生が、ほぼ毎日更新しています。

想像しよう 人の痛み・苦しみ 考えよう 自分の行動・言葉 きっと何か気づくはず

～平成26年度 熊本県人権メッセージ作品集より～

